

5・14～16沖縄闘争へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年5月3日

No.383

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

http://www.zengakuren.jp/

4/28法大デモ前の斎藤いくま全学連委員長アピール!

本日、武田雄飛丸君が今、この場にいません。武田君は本日のこの行動を、首都圏全ての学生のものにしていく為に学芸大学に「戦争反対の行動をやろう!」というビラを学芸大学で撒きに行って、そしてその場で当局に「建造物侵入だ」と言われて不当に逮捕され勾留されています。しかし状況は動きつつあります。本日が武田雄飛丸君の勾留満期になるわけですが、本日釈放になりそうです。

私達全学連はこの間、去年の安保国会に対する弾圧。スパイ事件や京都大学での戦争反対のバリケード・ストライキに対する弾圧。それら全てを打ち破って、本日ここにいます。弾圧に対して僕らが引かずに団結して立ち向かえば、必ず打ち破っていくことが出来る。このことが証明されました。

本日の法政大学の状態を皆さん見て下さい。法政大学はブラインドを閉め、外濠校舍側のあらゆる出入り口を完全に封鎖しています。「見るな・聞くな・言うな」、そういう体制を作って、多くの教職員をデモに対する警備として出しているわけです。私が一番訴えたいのは、法政大学が、なにか余力があるからこういうことをやっているんじゃないということです。彼らは暴力や恫喝以外に自分達の支配を維持出来ないからこういう形態を取っているんです。なぜ学費がこんなに高いのか。なぜこんなにも学生のサークル活動や、学祭、管理の強化が行われるのか。なぜ文化連盟は非公認になり、武田雄飛丸君は処分されたのか。このことについて、彼らは学生を説得することが出来ない。納得できるような論理をしゃべることが出来ない。だからとにかく威圧する。暴力で徹底的に叩き潰そうとする。学生が団結して立ちあがったらどうにもならないことを彼ら自身が知っているからです。だから、この今の目の前の現実、実は法大当局が強いんじゃないくて、立ち上がった学生がどれだけ力を持っているかを法政大学当局が認識しているからです。

改めてこの法政大学のあり方こそが今の社会のあり方の根本的な原因だということを訴えたい。この法政大学のあり方は例外的ではありません。武田雄飛丸君は学芸大学で本日の行動を呼びかけるためにビラを撒きに行ったことで逮捕されました。武田君を逮捕した警察官は、武田君を逮捕する時に「犬や猫を探すビラであれば特に問題にしない。だけど君は戦争反対のビラを撒いたから建造物侵入なんだ」、こう言って武田君を逮捕したそうです。つまり建造物侵入は関係ないわけです。戦争反対の学生を逮捕するために、一番使えそう



なのが建造物侵入だったから逮捕した。

しかも学芸大学は、この法政大学と同じくいわゆる日本共産党が強い大学で去年の安保関連法案＝戦争法案が強行採決されていく過程では、学芸大学の学者の会というものを立ち上げ、戦争反対の意思を強くもつ大学で有名になりました。だけどその大学が、実際には大学の中の民青自治会と一体になって全学連のうらに対しては通報して、警察に逮捕させる。

「安倍政権が強いからそれに対して野党は共闘して政治のあり方を止めよう。」こういうことが言われます。けども安倍政権の戦争政治に反対する人間達が、なによりも自分達の大学で、日常の中で活動する学生を最も弾圧し貶める。こういうことを延々とやっていたことがはっきりしたのが今回の弾圧だったと思います。

皆さん、結局それがこの社会で続いてき構造なわけです。2005年、21世紀大学経営協会の中で首都大学東京理事長の高橋宏氏はこういいました。「21世紀の大学の役割は、企業と同じだ。」「原材料を仕入れ、商品として加工し、卒業証書という保証書をつけて企業にだす。」「これが21世紀の大学だ。」この発言は2005年です。今2016年です。法政大学で突然立て看板や、ビラまきの禁止が始まり、文化連盟が非公認になり、その中心で活動していた学生が退学処分や停学処分になっていく。それがはじまったのが2006年の3月の14日です。十年が経ちました。今法政大学は、学生が学外で外濠公園での飲酒や宴会、花見をすることすら禁止する。最初は「一部の過激な学生を排除しているに過ぎない。」、こういう風にいつていたけれども、いざ十年経てみたら3万人の法大生すべてを徹底的に管理し、高い学費を払わせ私腹を肥やし大学で軍事研究を行い、文系の学部についても目的を転換させ、スーパースーパーグローバル大学と名乗って文科省のいいように文系の学部を再編していき、お金をもらえる。こういうことを法政大学はして来ました。それを左翼の名前を使って、左派のように言ってやってきた。すべてのペテンはここに凝縮されています。選挙でなにが変わろうが、結局、僕らの日常はなににも変わらないから、力関係が何一つ変わらないから。憲法が変わらなくても、法律が変わらなくても現場で行われることは変わっている。大学の自由も学問の自治も憲法上は何一つ変わっていないけれども、今この目の前では大学の自由や学問の自治を名乗って学生を弾圧し、勝手に大学を封鎖する。それが大学が行う決定権の範囲として正当だったという風に主張する。

こういう大学のあり方が目の前にあるわけです。皆さん、こういう連中に対して私達はもう、何一つ妥協は必要ありません。何一つ配慮は必要ありません。こいつらは結局、安倍政権とおんなじで、安倍政権が右の足であれば、左の足で学生を貧困や戦争に動員していくために徹底的に学生を、学費や奨学金ビジネスによって貧困に陥れ、自衛隊や軍需産業などに就職するように学生を仕向けていく。学生を「偉い人間には従え」「大学を封鎖すると言ったから封鎖なんだ」「おとなしく従え」、理由はないけれども、デモがあるからとりあえず来るな。こういうことを勝手にやる。そういう教育を私達にして、そして将来労働の現場で理不尽な労働条件でも吞まされていく。それが当たり前になるように。私達を教育している。皆さん、結局何も変わらないんです。

この状況ではなにも変わらない。こいつらを全員ぶっ飛ば

4/28国会デモ前京大生アピール

将来、歴史の教科書に載るような大事件が日本と世界でたくさん起きていますね！ そんな世の中でいま大学が何をしているのか！ 大学がしていることは本当にしょうもない！

昨年憲法学者の9割が「憲法違反だ」と言った戦争法案が成立しました。その裏で軍事研究が全国4大学で始まりました。京都大学も米軍から直接お金を受け取って研究をしているという情報も入っています。戦争がなぜ起こるのか？ どうやって止めるのか？ それを考えるはずの大学でこんなことが起こっている。この現実抗議をして僕たちは、昨年10月27日に戦争反対のストライキをしました。そしたらどうなったか？ 学生時代にストライキとともに大学生活を過ごした先生たちが「反戦ストライキは犯罪だ」と言って、学生を刑事告訴して警察に逮捕されました。絶対におかしいですよ！

熊本大震災が起こったにも関わらず、川内原発を止めない。「安全だから」？ 何の根拠があって「安全」と言っているのかまったく分からない！ 大学もこれに反対すべきなのに、京都大学は関西電力から資金をもらって原発研究をやっています。そういう状況の中で「原発＝安全」と言い回して、教授たちは福島に行って「放射能安全ですよ。」などという講演会をやっています。



して、行動する以外になにも変わりません。そして戦争を止める道、原発の建設を止める道、軍事研究や経済的徴兵制を止める道、それらすべてまさしく目の前の現実にあります。

フランスでは労働法制の改悪に反対して、百万を超える学生が立ち上がりました。韓国では戦争に反対して、パククネ政権が倒れ、戦争を進める一角が倒れました。日本では京都大学の仲間を先頭にして大学の中からストライキを甦らせる、そういう挑戦について踏み込みました。皆さん、少しずつ状況は変わりつつあります。こんな状態のままでいいのか！ レールの上を走らせるままでいいのか！ 自分達の信念を行動で示すときが来たんじゃないか。本日のデモから始めましょう！ 怒りを示そう。本日のデモをその出発点にしていきましょう！ ありがとうございました。

京都大学は「自由の学風」「自学・自習」を売り文句にしていますが、実際はどうか。「グローバル大学」になってどんどん海外と競争して市場を分捕らない、日本の大学は生き残れないと政府に予算を握られ完全に屈服しています。

今年から京都大学では毎週英語のリスニング問題をやらないうと単位をもらえない。いきなり導入したからシステムもまったく動いていない。または大学で戦争反対を訴えるサークルはどんどん潰そうとしている。学生自治会も非公認化され、学生は何もできなくさせられています。これが「自由の学風」を謳う京都大学の現実です。今年の入学式では学生自治会やサークルが新入生勧誘のビラをまくことが禁止だと言われました。一方で大学当局は自分たちの宣伝の新聞などを教室の机に置いている。大学側の意見だけを学生に聞かせようとしている。さらに、山極総長は反戦ストライキを「違法だ」と言っておきながら、入学式では「自由」という言葉を34回も言っている！ わけわからないですよ？ 学生も教職員も混乱しています。英語の教授も「現在の大学教育はおかしい」と声をあげています。昨年の京大反戦ストライキに賛成だと言う教授も現れてきています。

先日、東京学芸大学で戦争反対のビラをまいた学生が逮捕されました。これこそが歴史に残る大事件だし、戦争法施行によって戦争が「合法」となる中で、こういうことがどんどん起こっている！

僕たちは戦争を絶対に止めたいし、労働者と協力して、学生や労働者がストライキで闘おうと呼びかけています。ぜひみなさん、参加してください！ よろしくをお願いします。

【当面する行動方針】

●5・14～16沖縄現地闘争

5月14日(土)～16日(月) ひめゆり資料館見学、沖縄県民大会参加、国際通りデモ、沖縄大で集会(予定)

●国鉄闘争全国運動6・5全国集会

国鉄1047名解雇撤回！ 改憲一雇用・労働破壊に反撃を！ 2千万非正規労働者を殺すな！

6月5日(日) 13時～ 江戸川文化センター大ホールにて

【呼びかけ】 国鉄分割・民営化に反対し、1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動(国鉄闘争全国運動)

